エアライト搭載 消防ヘルメット

品番：FK#108JMXZ

涼しさと安全性を両立した
新次元の内装

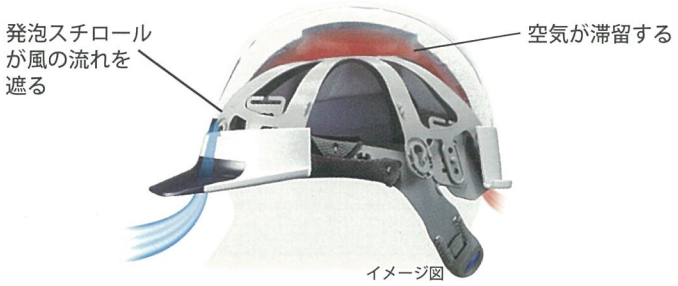
超軽量

エアライト PAT.
保安帽

飛来・落下物用検定　取得
墜落時保護用検定　取得

1. 涼しい

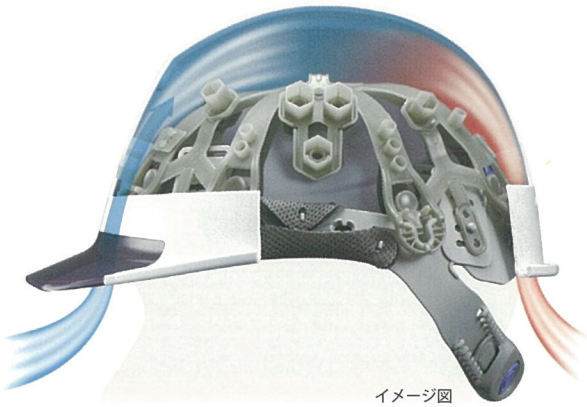
新開発の内装「エアライト」と帽体の間に風が流れます。
エアライトを搭載したヘルメットは、発泡スチロール製の衝撃吸収ライナーがなくなったことでヘルメット内部に空間が広がり、各段に通気性が向上しました。



イメージ図

従来品の空気の流れ

発泡スチロールが風の通り道を塞ぎます。前方からの風が頭頂部まで入りにくいため、後方から排出しにくくなっています。頭部の熱が逃げず、ムレやすい構造です。

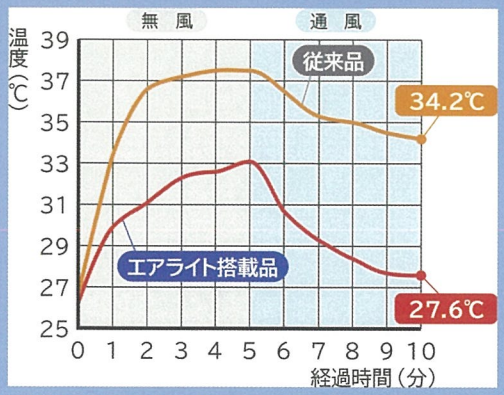


イメージ図

エアライト搭載品の空気の流れ

風の通り道を塞ぐ遮蔽物がありません。前方からの風が頭頂部の広い空間に入り込み、頭部の熱を後方から排出します。湿気も同時に排出するため、ムレにくい構造です。

■従来品とエアライト搭載品の頭頂部付近の温度変化比較 ※1



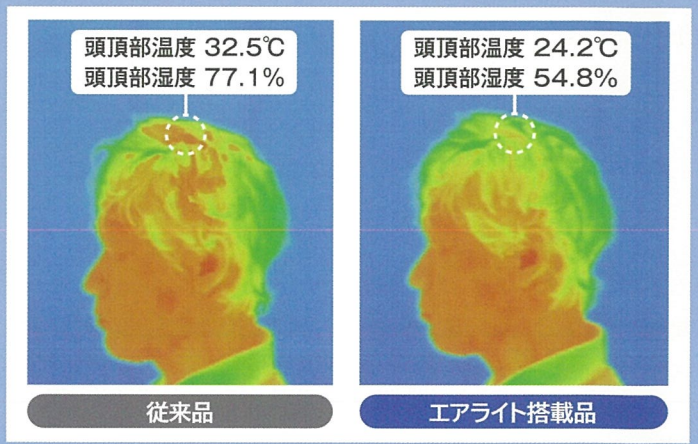
エアライト搭載品は従来品に比べ、温度上昇が緩やかです。通風 5 分後には試験開始の温度に近い温度に戻っています。これは通風させたことにより、暖まった空気を押し出し、空気が入れ替わっているためです。

試験方法　37℃に設定したサーマルマネキンにヘルメットを着用させ、時間経過によるヘルメット内部の温度変化を内装頂部の 1 cm上で測定。開始時は無風、5 分経過後にヘルメット正面から風速 1m/s の風を 5 分間あてる。

＜試験ヘルメット＞ST#161 型＜試験条件＞○室温 26℃○湿度 50%

※1 帽体の形状の違いにより効果は異なります。

■従来品とエアライト搭載品着用後の頭頂温度・湿度比較



試験方法　室温 23℃、湿度 54% の室内でヘルメットを着用して 15 分間運動した後の頭部の温度・湿度を比較。

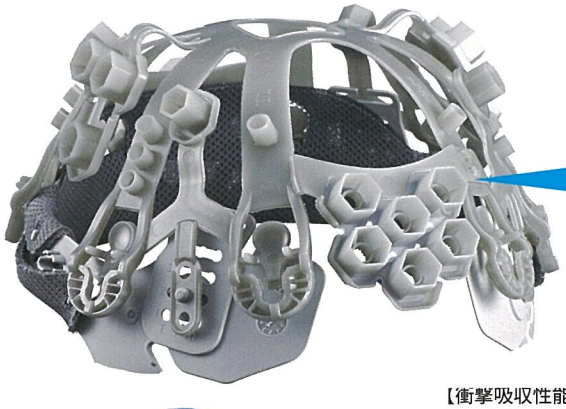
2. 安全

従来品の衝撃吸収ライナーと同等以上の性能をもつ「ブロックライナー」

前後左右に配置したブロックライナーは発泡スチロール製の衝撃吸収ライナーと同等以上の衝撃吸収性能を発揮し、墜落時保護用の検定を取得しました。

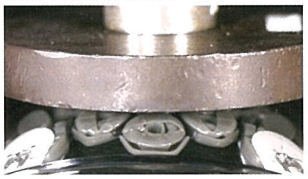
厚生労働省「保護帽の規格」以外に、タニザワが独自に設定したほとんどの試験箇所で、エアライト搭載品は従来品と同等もしくはそれ以上の衝撃吸収性能を発揮。墜落時や転倒時にも、しっかり頭部を保護します。

■「保護帽の規格」の衝撃吸収性能試験
■タニザワ独自の衝撃吸収性能試験



イメージ図

【衝撃吸収性能試験】



ブロックライナーが潰れることで衝撃を吸収します。

3. 遮熱塗装

直射日光を反射し、ヘルメット内の温度上昇を抑制します

■FRP 製軽量保護帽【遮熱塗装効果の検証結果】

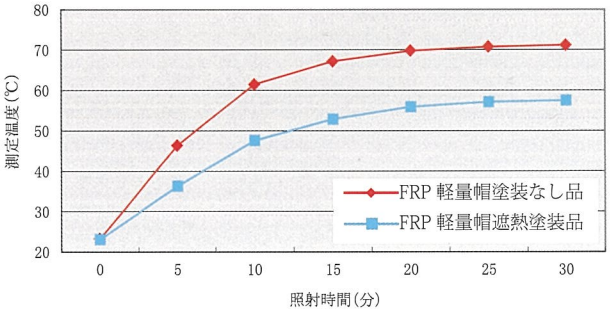
＜測定方法＞

- 色　相　　：W-3 ／白色塗装
- 光　源　　：300W ハロゲンランプ
- 測定部位：保護帽の頂部内表面
- 照射距離：光源より 30 cm
- 試験環境：室温 23 ～ 25℃の風の影響を受けない環境下

FRP軽量帽体の遮熱効果測定結果

結果 / 照射時間(分)	FRP軽量帽塗装なし品	FRP軽量帽遮熱塗装品	温度差(℃)
0	23.3	23.1	0.2
5	46.4	36.3	10.1
10	61.5	47.6	13.9
15	67.2	52.9	14.3
20	69.8	55.9	13.9
25	70.8	57.1	13.7
30	71.2	57.5	13.7

［遮熱塗装有・無による温度比較 (FRP 軽量)］



4. かんたん交換

内装交換がラクラク。新開発「サムリリース機構」

新開発の「サムリリース機構」はリリースボタンを押しながら、掛け具を動かすだけでかんたんに取り外せます。余計な力を使わずに、スムーズに内装交換ができます。

かんたん 2 ステップ

1 リリースボタンを押し、ロックを外します。掛け具を帽体の外側へずらします。

2 掛け具を持ち上げて外します。

販売元　船山株式会社
長岡本社：〒940-8577 新潟県長岡市稲保 4-713-2　TEL:0258-25-2780
東京本店：〒104-0052 東京都中央区月島 2-20-15　TEL:03-3532-3601
新潟支店：〒950-0863 新潟市東区卸新町 3-51-29　TEL:025-275-3155

製造元　タニザワ 株式会社 谷沢製作所

代理店

販売代理店
株式会社ピーシー販売
〒566-0063
大阪府摂津市鳥飼銘木町15-21
Phone　072-653-3201
Fax　072-653-2019
E-mail　powercuttersales@osaka.zaq.jp